

ウォンテッド (2008)

WANTED

メディア 映画

ジャンル アクション サスペンス

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 110分

初公開日 2008/09/20

公開情報 東宝東和

映倫 R-15

【キャッチコピー】

“1を倒して、1000を救う”

【解説】

オスカー女優アンジェリーナ・ジョリー、「つぐない」のジェームズ・マカヴォイが規格外の壮絶アクションを繰り広げる痛快エンタテインメント大作。マーク・ミラー&J・G・ジョーンズによる人気グラフィック・ノベルを「ナイト・ウォッチ」のティムール・ベクマンベトフ監督がスタイリッシュに映像化。暗殺組織に素質を見出された青年が覚醒し、孤高の暗殺者へ成長していく姿を理屈抜きの革新的ビジュアル満載で描く。

仕事もプライベートも冴えない青年ウェスリー。そんな彼の前にある日、ウェスリーの亡き父は凄腕の暗殺者だったと語る謎の美女フォックスが現われる。そしてその直後から、ウェスリーは何も事情が飲み込めぬまま激しい銃撃戦に巻き込まれ、淡々と応戦するフォックスに守られながら急場を切り抜けていくのだった。やがて、彼女にある集団のもとへと案内されるウェスリー。彼らはギリシャ神話の時代から神に代わり、＜運命の意志＞を実践してきた“フラタニティ”という秘密の暗殺組織で、その一員だったウェスリーの父は敵に殺されてしまったのだという。さらに自分が暗殺者の素質を持ち組織の王位継承者でもあると知らされたウェスリーは、父の復讐を誓い、その宿命を受け入れる。こうして、暗殺者としての潜在能力を覚醒させるため、フォックスの下で尋常ならざる特訓を受けることになるウェスリーだったが…。

【クレジット】

監督	ティムール・ベクマンベトフ	Timur Bekmambetov
製作	イアイン・スミス	Iain Smith
	マーク・プラット	Marc Platt
	ジム・レムリー	Jim Lemley
	ジェイソン・ネッター	Jason Netter
製作総指揮	ゲイリー・バーバー	Gary Barber
	ロジャー・バーンバウム	Roger Birnbaum
	アダム・シーゲル	Adam Siegel
	マーク・シルヴェストリ	Marc Silvestri
原作	マーク・ミラー	Mark Millar
	J・G・ジョーンズ	J.G. Jones
原案	マイケル・ブランド	Michael Brandt
	デレク・ハース	Derek Haas
脚本	マイケル・ブランド	Michael Brandt

	デレク・ハース	Derek Haas	
	クリス・モーガン	Chris Morgan	
撮影	ミッチェル・アムンドセン	Mitchell Amundsen	
プロダクションデザイン	ジョン・マイヤー	John Myhre	
衣装デザイン	ヴァルヴァーラ・アヴジューシコ	Varvara Avdyushko	
編集	デヴィッド・ブレナー	David Brenner	
音楽	ダニー・エルフマン	Danny Elfman	
出演	アンジェリーナ・ジョリー	Angelina Jolie	フォックス
	ジェームズ・マカヴォイ	James McAvoy	ウェスリー・ギブソン
	モーガン・フリーマン	Morgan Freeman	スローン
	テレンス・スタンプ	Terence Stamp	ペクワースキー
	トーマス・クレッチマン	Thomas Kretschmann	クロス
	コモン	Common	ザ・ガンスミス
	クリステン・ヘイガー	Kristen Hager	
	マーク・ウォーレン	Marc Warren	
	デヴィッド・オハラ	David O'Hara	
	コンスタンチン・ハベンスキー	Konstantin Khabenskiy	
	クリス・プラット	Chris Pratt	
	ローナ・スコット	Lorna Scott	